

# ♪わが家のアイドル♪



藤沢台  
木全 紬葵ちゃん（0カ月）  
3985と大きく元気に生まれてきてくれた紬葵です。



佐備  
勢旗 陽登ちゃん（7カ月）  
いつも、ニコニコ陽登君♡  
笑顔で毎日過ごせますように。



中野町  
大田 晴海ちゃん（2カ月）  
元気にすくすく育ってね。大好きだよ♡



寿町  
林 大和ちゃん（1カ月）  
産まれてきてくれてありがとう♪一緒に色々な所へお出かけしようね♡



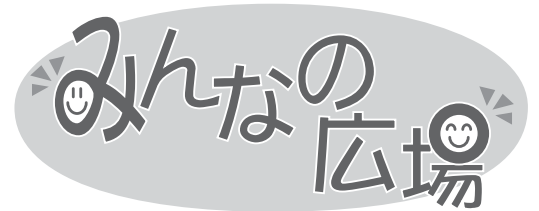
西板持町  
梶田 寿ちゃん（6カ月）  
これからいっぱい色んなところお出かけしようね♡



清水町  
松田 叶生ちゃん（0カ月）  
叶愛ちゃん（1歳10カ月）  
元気一杯仲良く育ってくれますよーに♡

## 宛先

584-8511  
常盤町1番1号  
富田林市役所  
情報公開課広報係  
住所・氏名ふりがな・電話番号



わが家のアイドル（対象年齢は4歳未満、兄弟・姉妹と一緒に写っている写真でも可）は、写真に、メッセージ（20字程度）を添え、住所、保護者とお子さんの名前（ふりがな）、撮影時の年齢（月齢）、電話番号を記入し、封書で上記の宛先まで応募してください。

また、市ウェブサイトからでも応募いただけます（右図のQRコードから応募ページにアクセスできます）。

なお、今応募された場合、掲載は約5カ月後になります。



俳句のコーナーは、都合によりしばらくの間、休ませていただきます。毎回お楽しみになされている皆さんにはご迷惑をお掛けしますが、ご理解のほどよろしく願います。  
※令和2年4月号は「川柳」を掲載します（なお、応募は2月29日で締め切りました）。

川柳・短歌は、それぞれ別のはがきで応募してください（1人各5点まで）。市内在住の人で未発表のものに限ります。作品の漢字や氏名には必ずフリガナをつけてください。  
5月号の「短歌」は3月31日（火）、7月号の「川柳」(宿題「結果」)は5月31日（日）までに応募（いずれも必着）してください。  
宛先は右記をご覧ください。

鬼から見た中世の喜志

皆さんは屋根の上に棲む鬼を見たことがありますか。屋根の鬼は古来より災厄を祓う守り神として飾られてきましたが、今では鬼瓦を屋根に掲げる家も少なくなりました。

写真は昨年度の喜志南遺跡（喜志町一丁目）の発掘調査で出土した鬼瓦の破片です。スーツとした鼻筋に猪風のちよつと憎めない顔。折れていますが、眉間には角が生え、大きく盛り上がった頬の横には太く線刻した頬ひげ。少しとぼけた表情のこの鬼瓦は平安時代後期のものです。



鬼瓦は、寺院に瓦が葺かれるようになった飛鳥時代からあり、最初は仏教で大切な蓮華を表していました。鬼になつたのは奈良時代からで、平安時代後期には顔だけをあ

しらひ、立体的な目や鼻をつけるようになりまし。皆さんのよく知る鋭い牙と眼光を持つ強面の鬼瓦は鎌倉時代後期以降になってからです。

調査では平安時代後期から室町時代前半の遺構遺物が多く見つかりました。遺物は半数以上が平安時代後期の瓦で、軒丸瓦も軒平瓦もほぼ一種類しかありませんでした。

埋蔵文化財発掘レポート

平瓦も同様で、丸瓦はその時代の瓦以外に少しだけ鎌倉時代か隅切瓦や鬼瓦の破片もあります。今回の出土瓦を四隅計測で数えると60数枚になりまは極めて少ない枚数です。瓦と関連しそうな遺構はなく、室町時代に瓦や土器を廃棄した大きな穴を2つ検出しました。また、地面の一番高い場所から低い場所へ向かって、数回整地した土層を確認しました。整地土は、瓦片を多く含み、鬼瓦もその中から見つかりました。

以上のことから、「平安時代後期頃に建てられた瓦葺建物が調査地近くにあったこと」、「長くは存続せず、ほとんど補修されなかつたこと」、「鬼瓦や隅切瓦から屋根構造は寄棟の可能性が高いこと」が分かりました。調査地は石川の河岸段丘の縁辺に位置しま

す。そこに村落の小さな瓦葺の仏堂があり、廃絶後、整地の際に相当な削平を受けたのかもかもしれません。中世の岐子（II支子）庄の歴史は文献に残っていません。この頃の喜志の歴史をひも解く糸口となる成果といえるでしょう。

なお、鬼瓦などの瓦は3月15日(日)まで近つ飛鳥博物館企画展で展示中ですので、ぜひお立ち寄りください。  
文化財課(内線507)

わがまちこのひと

長年、両市友好の架け橋として貢献

富田林・ベスレヘム 姉妹都市協会

今回は、本市の姉妹都市であるベスレヘム市との交流に取り組まれている富田林・ベスレヘム姉妹都市協会を紹介します。ベスレヘム市は、米国東部のペンシルバニア州に所在し、ニューヨークからは西へ約180キロのところにあります。



以前は米国第2位の規模を持つ鉄鋼会社がありましたが、鉄鋼業の衰退とともに倒産し、広大な工場跡地には現在ホテルやレストラン、コンサートや映画などが楽しめる施設が建設され、多くのイベントが開催されています。また、「クリスマス・ステイ」とも呼ばれるほどクリスマス行事が盛んな他、毎年8月には全米各地よりミュージシャンが集まり開催される音楽祭「ミュージックフェスト」でも有名です。

本市とベスレヘム市は、1964年4月に姉妹都市提携を結んでおり、間もなく56年を迎える長い交流の歴史があります。その交流を中心になって担ってきたのが同協会で、現在は約40人の市民らが、ベスレヘム市との交流を深めるとともに、その

業を実施しています。毎年夏に両市の学生を隔年で相互に派遣する「交換学生プログラム」では、これまでに両市合わせて200人以上の若者たちがお互いのまちを訪れ、ホストファミリーをはじめとする市民と交流してきました。

このプログラムは、交換学生が一般家庭にホームステイをしながら、市長表敬訪問や茶道を通じた市民との文化交流など、滞在期間中、姉妹都市交流の親善大使として活躍します。



また、昨年までに48回開催されている英語弁論大会は、ベスレヘム市との姉妹都市関係とともに、グローバル化時代に必要とされる英語を市民に広めたいという願いから始まり、毎年多くの出場者が英語で思い思いのスピーチを披露しています。

同協会会長の西田 正さんは「ベスレヘムは素晴らしいまちで、一度行けばきつとまた訪れたいです。もつと市民の皆さんに姉妹都市のことを知ってもらえればと思います」と話されています。